

防災対策は万全ですか

総合防災訓練は

9月8日(日)

に実施します



昨年の総合防災訓練の様子



防災週間

9月1日(防災の日)を中心とした8月30日から9月5日までは、「防災週間」です。

土砂災害、地震災害などから身の安全を守るため、普段から災害に対する備えを心がけましょう。

都留市では、「総合防災訓練」を9月8日(日)に実施します。市民の皆さんは、自主防災会、職場などで訓練を実施する場合は積極的に参加してください。
(メイン会場)
谷村第一小学校校庭

土砂災害から身を守る

土砂災害は、次のような現象の直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所に避難するとともに、関係機関に連絡してください。

- 山鳴りがする
 - 川の流れが濁り、流木が混ざりはじめる
 - 雨が降り続けているのに川の水位が下がる
 - 小石がバラバラ落ちてくる
 - 沢や井戸水が濁る
 - 斜面から水がふきだす
- 連絡先
- 都留市役所 ☎(43) 11111
 - 都留建設部 ☎(45) 78115
 - 都留市消防本部 ☎(43) 2341
- 近くの消防団

地震災害から身を守る

大きな地震が来たときは、次のようなことに注意して行動してください。

○まず落ち着いて身の安全を確保する

- ・机やテーブルに身をかくす
- ・非常脱出口を確保する
- ・あわてて外に飛び出さない
- あわてず冷静に火災を防ぐ
- ・地震！すばやく火の始末をする
- ・火が出たらまず消火をする
- 狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない
- 避難のテクニック
- ・避難は徒歩で、持ち物は最小限にとどめる
- ・山崩れ、がけ崩れに注意する
- 正しい情報の入手をする
- ・市役所、消防署などの情報に注意する
- ・テレビ、ラジオの報道に注意する
- ・デマにまどわされない
- ・不要、不急な電話は、かけない
- 協力しあって救出、救護をする
- ・軽いケガなどの処置は、地域ぐるみで助け合う
- 自動車の運転中は
- ・道路の左側か空地に停車、エンジンを止める
- ・ラジオなどで災害情報を聞く
- ・避難するときは、キーをつけたまま徒歩で非難する

ふだんの対策

被害の未然防止と被害の軽減を図るため、次のことを心がけましょう。

○防災訓練

自主防災会などの防災訓練には積極的に参加し、防災行動力を身につける。

○家庭での防災会議

ふだんから防災について話し合い、次の項目を確認しておく。
・家のまわりの危険個所の確認
・避難場所、避難経路の確認
・家族間の連絡方法、おちあい場所
・幼児や高齢者の避難責任者
・非常持出袋の点検と置き場所の確認

○家の補強

柱、土台、屋根瓦などの点検(できれば建物の耐震診断を受けましょう。)をして、強度が不足している箇所は補強する。

○ブロック塀、石塀の補強

鉄筋が入っていないものや、転倒防止の控壁を設けてあるか確認し、必要な対応をする。

○家具などの転倒、落下防止

トメ金などで固定しておく。

○消火器などの備え

消火器や三角バケツなどを用意しておく。

○非常持出品の準備

・避難場所での生活に最低限必要なものを用意しておく
・2〜3日分の食料、飲料水などを備蓄しておく

原爆パネル展開催

“平和を祈念し黙とうを”

8月6日(火)及び9日(金)は、原爆の日です。

都留市は、昭和57年10月市議会の議決を経て、人類永遠の平和を樹立するため、非核三原則の完全実施を願い、核兵器の全面廃絶と軍備縮小を求め、「核兵器廃絶平和都市」を宣言しています。

戦争死没者の冥福を祈り、世界の恒久平和を祈念して、次の事業を行います。

○原爆パネル展

文化会館1階ロビー
8月6日(火)～15日(木)
午前8時30分～午後5時

○平和祈念の黙とう【防災無線で呼びかけます】

広島原爆の日
8月6日(火)
午前8時15分

長崎原爆の日
8月9日(金)
午前11時2分

終戦の日
8月15日(木)
正午